

GAPによる持続可能な農業の実現

「ふくしま。GAPチャレンジ」を進めています。

福島県では、環境にも、ひとにも優しい「よい農業のやり方」(Good Agricultural Practice: GAP)を推進しています。これまでに、県内の709の農場がGAP認証を受けており(2022年3月現在)、2030年までに流通する県産農産物の半数以上がGAP認証農産物となるよう、1800農場でのGAP認証を目指しています。

「GAP=よい農業のやり方」は、環境への負荷を減らし、農業を行うひとの安全や人権を守り、安全性の高い農作物を生産することを通じ、農場経営の改善や農作物の安定供給を行う「持続可能な農業」の実現が期待されます。また、GAPの実践は、経済・社会・環境のバランスがとれた社会を目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成への貢献ともなります。

GAP認証農産物を購入することで、あなたもSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献することができます。

- 広げる GAPを通じて、持続可能な農業を広げます。
- 深める GAPのよさを伝え、地域農場の発展をサポートします。
- つなげる 生産者の思い「ふくしま。プライド」を食卓につなげます。

人権の尊重

● 人種、国籍、性別などによる雇用や昇給、賃金差別をなくします。

● 労働安全の研修を行う。熱中症対策のために、こまめな水分補給をルール化する。

● 同一労働、同一賃金の達成を目指す。

労働安全

● 作業者が安全に働ける労働環境を作ります。

● 登録のある肥料を使用し、適切に管理する。

● 品などの安全を確認し、適切な管理を行う。

家畜衛生

● 衛生的な飼育環境で家畜を健康的に育て、安全な畜産物を提供します。

● 化学合成農薬の使用を減らし、生物農薬を活用する。

● 化学合成農薬の使用を減らし、生物農薬を活用する。

農場管理

● 環境への負荷を軽減し、社会的ニーズに考慮した農産物を提供するような持続可能な農業を作る。

● 役割分担を明確にし、働きがいのある職場環境を作る。

● 化学肥料を使い過ぎないように管理する。

● 作業マニュアルを作成し、作業に関わる人がよりよい作業体制を構築するために、マニュアルの見直しを行う。

食品安全

● 使用する水、土、肥料、飼料、農薬、動物用医薬品などの安全を確認し、適切な管理を行う。

● 登録のある肥料を使用し、適切に管理する。

● 品などの安全を確認し、適切な管理を行う。

環境保全

● 農業生産に伴い発生する廃棄物の削減と再利用に取り組む。

● 農業生産が及ぼす生態系への影響を考慮し、生物多様性に配慮した活動に取り組む。

● 化学合成農薬の使用を減らし、生物農薬を活用する。

GAPってなに？

GAPとは、農業生産で守るべきルールや環境保全、人権保護、労働者の安全の確保など配慮すべき事項を実施することです。これらの事項に対応していることを第三者等が審査し、適切に実施されていることが認められると、その農場はGAP認証を受けることができます。GAP認証を受けた農場で生産された農産物は、GAP認証農産物としてみなさんの食卓に届けられます。



いつでもどこでも県内のGAPに関する最新情報が入手できるポータルサイト

生産者のみなさま

GAPに取り組んでみようかな
GAP認証農場としてもっとPRしたい

GAP認証取得に向けた情報が満載

流通事業者のみなさま

GAP認証農産物を取り扱いたいけど
まとまった情報ないかな…

供給可能な認証農産物を品目別、時期別に検索できます

消費者のみなさま

GAPってなんだろう

写真や動画を使ってわかりやすく解説しています

ふくしま県GAP 検索 <https://gap-fukushima.jp/> さいそくアクセス!

福島県

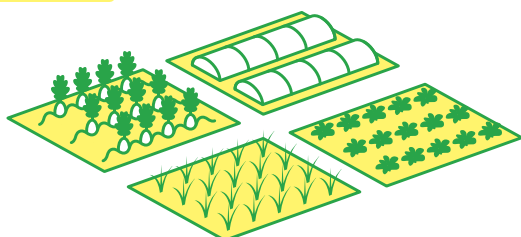
ふくしま。GAPチャレンジ

農業でひろがる・ふかめる・つながる！

Good Agricultural Practice

ひろがる・ふかめる・つながる GAP

ひろがる GAP認証がどんどんひろがっています



認証農場数

709

(2022年3月末日)

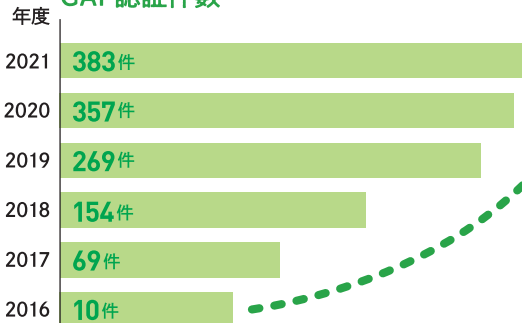
GAP指導員数

1249

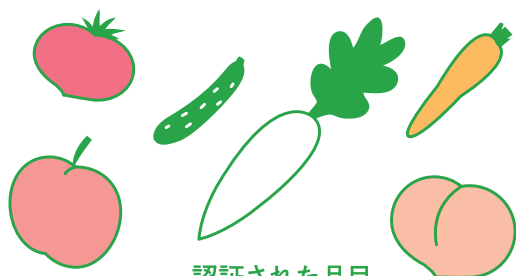
(2022年3月末 GAP総合研究所調べ)

GAP認証農場を
ひろげるために、
GAP指導員が生産者を
サポートしています。

GAP認証件数



福島県内各地で
認証取得農場が
大幅に増加!!



認証された品目

92 品目



GAP認証取得No.1品目

米



福島県ブランド米「福、笑い」

全ての「福、笑い」は、

GAP認証農場で生産されています。

品目別認証件数TOP10

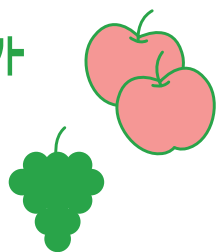
1位 **米**

2位 **トマト・ミニトマト**

3位 **桃**

4位 **りんご**

5位 **ぶどう**



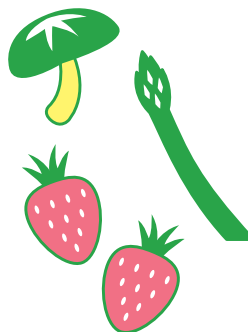
6位 **日本なし**

7位 **しいたけ**

8位 **アスパラガス**

9位 **きゅうり**

10位 **いちご**



珍しい品目

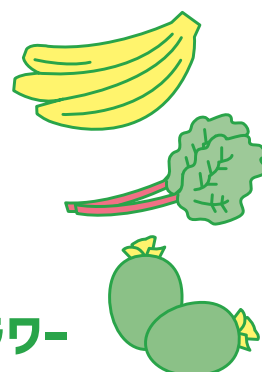
バナナ

ルバーブ

高麗にんじん

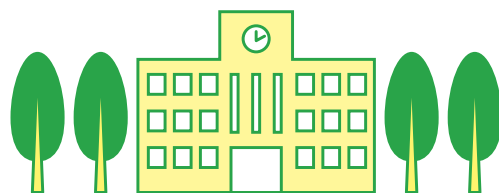
フェイジョア

エディブルフラワー



ふかめる

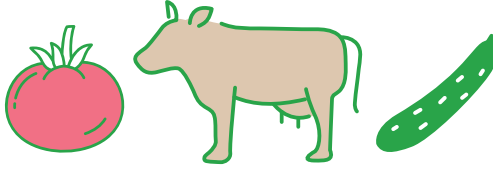
教育機関での知識がふかまり、
地域に元気を与えています。



取得校数

11 校

(短期大学1校含む)

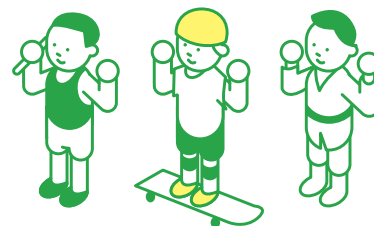


品目数

42 品目

つながる

東京オリンピック・
パラリンピックでの活用



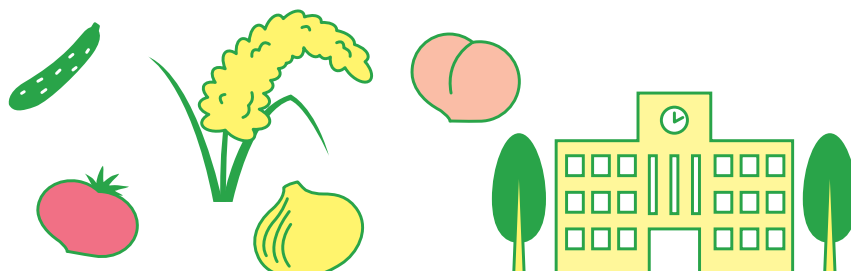
品目数

7 品目

もも、ミディトマト、たまねぎ、米、
トマト、きゅうり、かぼちゃ

教育機関における GAPの実践と挑戦

福島県の農業の未来を担う農業
高校・農業短期大学校でも、生徒
が主体的にGAPの実践や認証の
取得に取り組んでいます。



JGAP取得品目数日本一

福島明成高等学校

GLOBAL G.A.P.取得品目数日本一

岩瀬農業高等学校

農業高校における
認証取得状況、品
目の一覧はこちら

